

「持続可能な地域づくり充実事業」

【能代七夕 天空の不夜城 科技高ふるさとづくりプロジェクト】

「**天空の不夜城**」とは、能代市、能代商工会議所、能代青年会議所が、観光による地域活性化を目的に、「能代七夕 天空の不夜城」として、2013年に明治時代の高さ五丈八尺（17.6m）大型灯籠を復活させ、さらに2014年には日本一の高さを誇る24.1mの灯籠を完成させ、運行しているものです。色彩豊かで、天にまで届く2基の城郭七夕灯籠が街を練り歩く迫力のある姿に、多くの観光客が酔いしれています。

今年は8月2日（水）、3日（木）の2日間、市中心部の国道101号で開催が予定されています。本校は会場に一番近い学校として、地域の若い力の要となってそのエネルギーを生かし、生徒会を中心に全校生徒で共に盛り上げていきます。このプロジェクトによって、ふるさとの伝統継承について改めて考え、ふるさとを拠点にした生活を考えるきっかけのひとつとなるようにしていきたいと考えています。

具体的な活動としては、専門の学習成果を生かした近隣小中学校の田楽灯籠のLED化、キバ提灯のLED化の他、大型灯籠2基の引き手、笛・太鼓・鐘などの囃子手、運行の管理・補助を行います。田楽灯籠やキバ提灯に取り付けるLEDは本物のろうそくの炎のような「ゆらぎ」を表現しています。

第1回プロジェクト学習会 7月6日（木）開催

地域の方々を講師として招き、学習会を開催しました。

ここでは、灯籠を引くときのかけ声や、綱の上げ下げのタイミング、笛・太鼓・鐘の演奏の確認などを行いました。

第2回プロジェクト学習会 7月21日（金）開催予定

